

## 要 旨

### 試験委託者

環境庁

### 表 題

p-クレゾールのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する延長毒性試験－14日間

### 試験番号

NMMP/E09/5040

### 試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 204「魚類延長毒性試験－14日間」(1984年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質 : p-クレゾール
- 2) 方式 : 流水式 (定量ポンプを用いる連続希釈装置を使用)
- 3) 供試生物 : ヒメダカ (*Oryzias latipes*)
- 4) 試験濃度 : 対照区、1.9、3.4、6.2、11.1、および 20.0mg/L  
(設定濃度、濃度公比 : 1.8)
- 5) 暴露期間 : 14日間
- 6) 試験水槽 : 3.0L
- 7) 生物数 : 10尾/濃度区
- 8) 照明 : 室内光、16時間明/8時間暗
- 9) エアレーション : 無し
- 10) 温度 :  $24 \pm 2^{\circ}\text{C}$
- 11) 試験液中の被験物質の分析  
: 高速液体クロマトグラフ法

## 結 果

- 1) 14日間の最小致死濃度 = 10.9mg/L
- 2) 14日間の最小作用濃度 = 5.9mg/L
- 3) 14日間の最大無作用濃度 (NOEC) = 2.9mg/L
- 4) 7日間の半数致死濃度 (LC50) = 17.8mg/L (95%信頼区間 : 13.7mg/L~61.6mg/L)
- 5) 14日間の半数致死濃度 (LC50) = 13.7mg/L (95%信頼区間 : 10.8mg/L~19.9mg/L)

(上記濃度は、全て実測濃度の算術平均値に基づく値)